



小松市立学校PTA連合会
会長 清水 篤志

“ 困難を乗り越え前進する ”

日頃より、皆様にはPTA活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
現在、世界中で猛威を振っている、未曾有の新型コロナウイルス感染のリスクが、家庭・教育現場・子どもたちに大きな影響を与えています。今までの生活が一変し、自宅で過ごすことを基本生活としていることによる運動量の低下や生活リズムの乱れ、情緒不安定な様子が見られるなど、子どもたちの自粛ストレスも大きなものだと感じております。保護者の皆様におかれましても、初めての経験で先の分からない生活状況に不安を抱えつつ、親として子どもたちに安心感を与えながら過ごされていることと思います。今後も感染拡大を起ささない努力が必要とされ、私たちの生活スタイルもあらためて見つめ直すことが求められています。このような状況下で、子どもたちがSNSを通じた犯罪や非行行為、新型コロナウイルスによる風評被害等ていじめに巻き込まれないようにするためには、豊かな心を育む環境が大切なのではないでしょうか。そこで、次世代を担う子どもたちの豊かな心を育む環境づくりを主題として、今までに培ってきた「家庭・学校・地域の連携の力」を発揮し、一丸となって共にこの苦境を乗り越えるよう努めてまいります。

また、PTA活動においても活動が軒並み中止や縮小になるなど「新しいPTAのあり方」が突如突き付けられる事態となっております。しかし、この事態を“ピンチ”とだけ捉えず、もう一度活動を根底から見直す“チャンス”と捉え、時代に即したPTA活動を目指していきます。そして、社会全体で次世代を担う子どもたちの成長を見守り、子どもたちが安全で安心して過ごせる平穏な生活の中にある「幸せ」を感じられる環境を大切に、子どもたちの輝く未来のために、家庭・学校・地域の教育力の総合的向上と子どもたちの健全育成に取り組んでまいります。

本年度も保護者の皆様の受け皿となるよう小松市立学校PTA連合会は活動していきますので、更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

★令和3年度 市P連組織

◎ 委員長 ○ 副委員長 ● 校長

顧問		会長	副会長	監事		会計
道場 幹雄 (御幸中) 中井 泰孝 (板津中)		清水 篤志 (芦城中)	駒澤 美紀 (芦城中) 県P副会長	北村 裕樹 (南部中) 田村 義彦 (安宅小)	佐々木香子 (芦城中)	
副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	
宮川 教高 (能美小)	濱口 淳也 (稚松小)	上玉利 賢 (安宅中)	澤村 高史 (丸内中)	坂本 啓太 (芦城小)	宮崎 忍 (御幸中)	
総務委員会	広報委員会	豊かな心を育む委員会	研修委員会	未来の宝育成委員会	輝く心の学び委員会	
◎ 林 北 志武 中山 吉本 恭弘 佳孝 陽子 秀樹 計典 (今江小) (安宅小) (能美小)	◎ 田中 杉山 釣川 桑名 宏茂 広明 久子 謙輔 (板津中) (符津小)	◎ 加藤 吉田 村井 角西 武敏 崇 剛志 裕兵 (東陵小) (御幸中) (安宅小)	◎ 水山 西毛 吉田 宣行 竜也 友憲 睦子 (芦城中) (中海小) (国府小)	◎ 金子 平澤 駒宮 哲也 慎也 高史 教高 (芦城小) (丸内中) (能美小)	◎ 白石 知里 (中海小)	
● 若山 直代 (荒屋小学校校長)	● 小山 貴子 (木場小学校校長)	● 村上 希久子 (今江小学校校長)	● 廣田 恵子 (松東みどり学園校長)	● 青木 敬子 (月津小学校校長)	◎ 北出 葵 (中海中) ◎ 谷中 佐祐里 (稚松小) ◎ 江畑 いずみ (東陵小)	
吉岡 宏恭 (苗代小)	竹田 大輔 (能美小)	東 栄二朗 (日末小)	伊島 孝昭 (中海中)	若山 弘子 (芦城中) 県P家庭教育委員	A 高田 幸子 (今江小) B 中出 あかね (安宅小) C 永田 裕美 (中海小) D 林 真理恵 (中海中)	

第64回小松市PTA研究大会

令和3年度
研究発表校

南部中学校育友会

犬丸小学校校下育友会

荒屋小学校育友会

早寝早起き朝ごはん運動 ～ 大人が変われば子どもも変わる ～ 小松市民大会

同時
開催

日時：令和3年10月31日(日)

場所：こまつ芸術劇場うらら 大ホール



単Pだより

稚松小学校「美化ピカ運動」

令和2、3年度 小松市立稚松小学校 育松会会長 濱口 淳也

稚松小学校では、例年6月に日曜参観を行っております。

これまで、育松会としてはこの日をチャンスと捉え、並行して有志保護者による『美化ピカ運動』を行ってきました。古紙回収のほかに、授業で使われていない音楽室や理科室等のエアコンのフィルター清掃や児童玄関や中庭、運動場の清掃などの環境整備を概ね60名くらいのボランティア保護者と先生で手分けして行うものです。

しかし、昨年はコロナ禍で様々な活動が中止となり、この活動もやるべきか否かで議論になりました。コロナを恐れるあまり、汚れたフィルターを通した空気の中で子どもたちが過ごすことになっては、そもそも健康安全な環境とは言えないと判断し、最小限の役員のみが集まり各自の距離を保ちながらフィルター清掃を行いました。

今年もちょうどこの6月に重なりました。昨年同様、やらないわけにはいかないと役員と先生14名でフィルター清掃を行いました。今年はさらに、開閉しづらい窓の戸車交換やプールのテント張りまで幅を広げましたが、スムーズに活動を終えることができました。

緊急事態宣言が解除されたことを受け、7月末には、全保護者に声かけをして運動場や中庭の清掃を実施したいと考えています。育松会として、そして、わがまち美化ピカ隊として、歴史ある稚松小学校を綺麗にし、健やかな子どもたちとともに再来年の創立150周年を迎えたいと思います。



編集後記

「コロナ禍」という言葉を耳にするようになってから、既に1年以上が経過しました。3密、ソーシャルディスタンス、緊急事態宣言、クラスター、まん防、変異株等々…次々に新たな言葉が聞こえてきます。

このような状況下においても子どもたちが「日常」を続けられるよう、これまで以上に我々大人たちが頑張らないといけないのだと思います。

ここにPTAだより第96号をお届けいたします。

広報委員長 田中 宏茂 (犬丸小)

広報委員会

田中 宏茂 (犬丸小)・杉山 広明 (板津中)
濱口 淳也 (稚松小)・釣川 久子 (松東みどり)
山田 和則 (向本折小)・桑名 謙輔 (符津小)
竹田 大輔 (能美小)・鈴山 和朗 (松陽中)
酒井 基樹 (南部中)・小松 真也 (安宅中)
小山 貴子 (木場小学校校長)